

2025年1月31日(金)開催 株主様向け「会社説明会」質疑応答内容(要旨)

質疑応答内容

質問①	直近の決算で、親会社への預け金がなくなりましたが、その意図について教えてください。
回答	親会社への預け金につきましては、一部の株主様から数年にわたって、株主間の平等に反する旨の否定的なご意見を頂戴しております。当社からは一貫して「親会社からの強制性は一切なく、財務的な観点から自主性に基づき判断しており、銀行へ預けるより金利率が良く、株主様も資金運用のメリットを享受できている。株主間の平等の原則には反しない。」とご説明しており、現時点でも肯定的な考えを持っております。しかしながら、株主様からご理解いただけなかったため、自主的な判断で実施していることを明示するべく、昨年12月末の段階で、親会社への預け金をゼロといたしました。
質問②	累進配当やDOEを導入する企業が増えていますが、御社は検討されていますか。
回答	累進配当やDOEといった新しい考え方に基づく配当政策は認識しておりますが、現時点では検討しておりません。当社のビジネスモデルは比較的安定した売り上げ、利益が想定されますので、それぞれの年度毎の利益に見合った配当政策を行うという点から、配当性向を指標とすることが適切と判断しております。しかし、今後の事業環境の変化や売上高の構成のドラステックな変化があれば、株主の皆様への利益還元の在り方について、検討する必要があると考えております。
質問③	JFE スチールシステム改修ビジネス終了後のビジネスビジョンを知りたいです。売り上げ、利益規模の拡張は可能でしょうか。
回答	製鉄所システムリフレッシュが2025年度に完了するため、売り上げや利益にはそれなりの規模で影響があると見込んでおりますが、現在集計中で、この場でのご説明はできない状況です。システム改修後のビジネスビジョンにつきましては、人的資本を鉄鋼部門から一般顧客部門へシフトすることで、一般顧客部門を伸ばし鉄鋼部門での売り上げの減少をカバーするというのが基本的なビジョンです。人的資本をシフトすれば、すぐに売り上げに直結するわけではなく、スキリングや顧客の業務内容を理解するための期間が一定程度必要であり、それをいかに短期間で効率的に行うかがポイントになると考えております。
質問④	JFE グループには御社以外にもシステムビジネスを展開している関連会社があると認識していますが、御社がそうした会社を買収して事業拡大を図る目論見はありますか。
回答	JFE グループにはシステム会社が2社あり、当社ともう1社は株式会社エクサであります。株式会社エクサのJFEグループの持株比率は49%であり、残りの51%は別の大株主が保有しております。当社が株式会社エクサと経営統合して事業を拡大することは売り上げ・利益の増加に繋がりますので、可能性としては排除しません。しかしながら、JFEができて22年の間、何らかの検討はあったと思いますが、これまで実現していないということは事実であり、可能性は低いと思っています。

質問⑤	<p>処遇改善費が今期は重いですが、それを上回るゲインは得られそうでしょうか。来期も重めの処遇改善は続く予定でしょうか。</p>
回答	<p>日本全体での人手不足、特に IT 業界での人材獲得競争が激化しています。そういった状況の中、当社も採用負けしないように、各種施策に取り組んでおり、その中の一つとして処遇改善があります。そのため、世の中の状況や他社の状況を勘案し決定していく必要があります。今後も続いていくことが想定されます。25年度については、春闘の最中なので何とも申し上げられませんが、世間水準を意識しながら、社員の生活を守っていくためにも、それなりの対応が必要と考えております。また、処遇改善に対するゲインを得られるかどうかということに関しては、すぐに得られるものではないと考えておりますが、社員も処遇改善に見合った働き方をしようという気持ちを持っていると思いますので、組織として生産性を改善するアクションや付加価値を高めるような製品の開発やサービスの提供、お客様の開拓を通じて、社員と共にゲインを得ていきたいと考えております。</p>

説明会終了後の追加質問

質問	<p>2024年12月末の親会社への預け金がゼロとなっているが、これはCMSの利用をやめたという理解で良いか。</p>
回答	<p>先日の株主様向け会社説明会でお話ししたとおり、12月末のCMS残高をゼロにしたのは、CMSへの預け入れ、引き出しについて、当社の自由な判断で行なっていることを株主の皆さんにお示しするためです。当社はCMSの利用について、これまで株主総会等でご説明してきたとおり、利便性、安全性、収益性の面で経済合理性にかなったものであり、また、株主間の平等を損なうものではないと考えています。なお、四半期末以外のCMS残高など、個別の取引の状況については、回答を控えさせていただきます。</p>

以上